

2022年度「住まいのまちなみコンクール」
応募申請書(記入例)

年 月 日

住まいのまちなみコンクール事務局 殿

2022年度「住まいのまちなみコンクール」に下記団体を申請いたします。

フリガナ
応募団体名フリガナ
代表者氏名フリガナ
代表者住所 〒
電話番号

■応募担当者連絡先

フリガナ	
氏名	
フリガナ	
住所	〒
TEL	
携帯	
メール	
メインの連絡手段	(下記□にチェックしてください) <input type="checkbox"/> ①TEL <input type="checkbox"/> ②携帯 <input type="checkbox"/> ③メール

今後の参考とするため、次について回答をお願いいたします。

①以前に応募された場合は、その応募年度を記入してください。

②この募集をどのような媒体で知りましたか？

③行政担当窓口がありましたらお教えてください。(課・氏名・電話番号)

(他団体と連携している場合は、その名称・関係を下記に記入してください。複数可。)

名称:

関係:

(2) 団体の構成・組織図

(団体の構成メンバー、人数について記入してください。また、組織図等があれば図示してください。資料の添付でも結構です。)

(3) 団体の予算

(昨年度の団体の年間予算と、その内主な使途と費用を、3つ記入してください。)

年間予算:

その内主な使途(費用)は

1)

2)

3)

(4) 団体活動の外部委託

(下記□にチェックしてください。)

あり なし

(「あり」の場合、下記に委託先とその内容について記入してください。)

委託先名称:

委託内容:

(5) 共有地 ※区域図(1.(6))に図示してください

(下記□にチェックしてください。)

あり なし

(「あり」の場合、下記に共有地の所有者や用途について記入してください。)

(6) 共有施設・主な共有物 ※区域図(1.(6))に図示してください

(下記□にチェックしてください。)

あり なし

(「あり」の場合、下記に共有施設の所有者や用途について記入してください。)

(7) まちなみのルール ※ルールがある場合、文書化したものを添付してください

(下記□にチェックしてください。)

あり なし

(「あり」の場合、下記□にチェックし、開始時期を記入してください。)

地区計画

開始時期:

建築協定

開始時期:

緑地協定

開始時期:

景観協定

開始時期:

その他

ルールの名称:

開始時期:

(8)団体のホームページや SNS 等

(団体の活動を紹介しているホームページや SNS 等があれば、ご記入ください。)

URL:

3. 活動の概要

(1)住宅地の略歴

(対象となる住宅地の成り立ちから現在に至るまでの経緯を記入してください。)

(例1:新興住宅地)

市街化調整区域内農地として、優良農地が多数存在するエリアでした。しかし、高齢化などの理由で、農業を継続することが難しくなった農家が増加したことや、相続によって、宅地と農地が虫食的に混在し始めたこと、そして、駅前という好立地を活かした新たな土地利用転換の機運が高まってきました。それを背景に、市が〇〇モデル街区概要を策定し、当初開発計画の段階で地域内でのエネルギー最適化、持続可能なタウンマネジメントが検討され、〇年に〇〇を中心として土地区画整理事業でまちづくりが進められました。市街化区域に編入され、戸建て住宅地、集合住宅地、商業施設等が配置され、〇年より入居が開始されました。

(例2:歴史的なまち)

〇〇時代に〇〇として形成されました。その後、〇〇の商業が盛んになり、栄えていきました。

まちなみは、〇〇時代に始まり、〇〇の中心地として形成されていきました。〇〇時代には、中心地が移行し、商店が少しずつ閉店し、まちなみを残して高齢者の多いまちへと変わっていきました。

〇〇年度には、〇〇事業のもとでまちづくり協定を作成し、外観修景事業等を行い、歴史的なまちなみの保全を行いました(〇〇件実施)。修景事業を実施を進めていく中で、住民の考えも変化し、まちなみ保全に意識が高まりました。事業終了後も、継続してまちなみを守っていくための取り組みとして、〇〇を実施しています。

(2) 団体の略歴

(設立までの経緯、設立趣旨等を記入してください。)

(3) 現在の活動内容

(これまでに実施した具体的な活動内容について、活動経緯、目的、実施時期、実施頻度・規模(年間実施回数、参加人数)等も含めて記入してください。また、活動にあたって、特に工夫したことやねらいを記入してください。)

【参考】選考のポイント(次に掲げる取り組み等を特に評価することとしています。)

ア. まちなみに関する取り組み内容等

- ・維持管理している住宅地が、住まいの美しいまちなみ景観を有している
- ・継続的な景観維持活動を通じ、景観を育て、より成熟させている
- ・建築協定など、まちなみのルールを有している
- ・まちづくりにおける社会的課題に取り組んでいる

(社会的課題への取り組みの例としては、活力の低下が見られる街の再生、脱炭素、防災、高齢化対応、子育て支援、空家・空地の利活用、住み替え支援、農ある暮らし等が挙げられます)

イ. 取り組みの体制

- ・多人数によるまちなみの維持管理活動が行われている
- ・多世代による取り組み、対象住宅地の外に住まわれている方との協働、複数の団体による協働等が行われている

ウ. 取り組みに関する期間

- ・一定期間継続してまちなみの維持管理活動が行われている

エ. 他地域に対するモデル性

- ・取り組みの内容等が、他地域で同様の課題に取り組んでいる団体のモデルになりうると認められる

(例1:新興住宅地)

集会所や共有植栽の管理と地域の価値の維持・向上、地域コミュニティの形成を主な目的として、〇年に団地管理組合法人が設立されました。景観協定とそれに基づく景観協定運営委員会が設置されることにより、住民自ら協定を運用し、良好な景観の維持管理を行っています。景観環境の維持・改善に向けて、全域を対象に、住民による年2回のクリーンデーを実施しています。その他、HP・広報誌、集会所や防犯カメラの維持運営、防犯パトロール、地元農家によるマルシェ、各種勉強会など多岐にわたっています。

工夫している活動としては、「〇〇活動」として、防犯まちづくりの専門家の助言をもとに、統一カラーの花やプレートでまちを飾り、住民がガーデニングを楽しみながら、子どもの見守りや防犯活動を行うものとして定着しています。「〇〇プロジェクト」は、ペットを飼う人も飼わない人も双方が暮らしやすいまちづくりを目指す活動で、ペットオーナーコミュニティによる自発的マナー向上とまちの清掃、わんわんパトロールにより、環境美化・防犯向上に取り組んでいます。

(例2:歴史的なまち)

〇年、まちなみを特徴づけている住宅の滅失が続いたため、危機感を持った住民が呼びかけ、まちあるきや他地区の視察を実施しました。自分の住むまちなみの個性や魅力を自分たちなりにまとめ、これを地区住民に瓦版の形で伝えたことで、考えの共有ができ、会員の拡大につながりました。

その後、〇〇をねらいとして、全戸対象のまちなみアンケートを実施しました。アンケート実施にあたっては、〇〇を工夫しました。

まちを特徴づける住宅を保全するため、〇〇では、維持管理、修理修景の相談を受けています。また、まちなみ資源を守るため、住民に対して感謝状を贈り、これまでの維持管理に対する謝意と今後の継承を望む気持ちを伝えています。この活動は、自主的な修景などの動きにもつながっています。

まちなみは、建物だけでなく、住まい方から生まれるという考えから、この地区での住まい方の良さを皆で探し、住民に伝えています。この活動は、地区外にも伝わり、このまちに魅力を感じ移住した住民もいます。

(4)今後の活動の計画

(今後の取り組みについて、短期的、あるいは長期的な活動計画等を記入してください。)

(5) 参考資料(任意)

(活動内容がわかるもの(団体が作成したコミュニティ誌等)、活動を紹介した掲載紙(新聞・雑誌等)があれば資料内容を記入し、添付してください。)

4. その他

(1) 維持活動支援費の用途

(受賞後の支援費についての用途案を記入してください。案で結構です。)

(2) 貴団体のこれまでの受賞歴

(これまでに受賞歴があれば記入してください。)

写真説明書

(まちなみの景観や活動の様子がわかる写真を説明文を添えて提出してください。必要に応じて頁を追加してください。下記様式ではなく、既存の団体活動資料の添付で代用しても結構です。最大5ページでお願いします。)

写真No. 1 画像を貼りつけてください。	写真No. 2
写真の説明文(20～30字程度)	写真の説明文(20～30字程度)
写真No. 3	写真No. 4
写真の説明文(20～30字程度)	写真の説明文(20～30字程度)
写真No. 5	写真No. 6
写真の説明文(20～30字程度)	写真の説明文(20～30字程度)